

平成 19 年

1 月

No. 519



広 報

いいたて

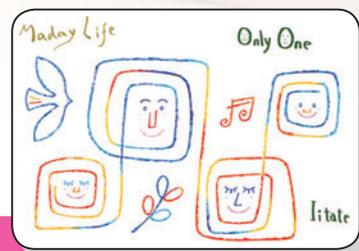
<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



## つきたて お餅にうれしい笑顔

飯樋幼稚園で「もちつき会」が行われ、園児たちが地域やPTAの方たちと一緒に餅をつきました。つきあがった餅は、きなこ餅と汁餅としてふるまわれ、園児たちはつきたての餅をおいしそうに食べていました。

12/1



大いなる田舎 まていうイフ・いいたて

# 新春のごあいさつ



飯舘村長  
菅野 典雄

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、どのような新年を迎えられたでしょうか。

全家庭が、ご家族お揃いで健やかな新年を迎えていた  
だきたいものと、心より念じているところです。

昨年を振り返ってみますと、9月30日の「立村50周年記念祭」に多くの村民の方々に参加をいただき、心に残る記念祭にしてもらったことが、私としては最高の喜びでありました。これまで、しっかりと村をつくってこられた先輩の方々も、そしてこれから村の未来を背負って  
なっていく子どもたちまで、心を一つにし、一体とな  
って新たな出発をしていこうという機運が満ちあふれ  
ていた祭典だったような気がします。

「飯舘村50年」の素晴らしい「締め」と「スタート」が切れたことに、村民の皆様に対し村長として心からの  
礼と感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、その意味で今年は一世紀、100年の折り返しの  
大事な年となります。皆様と知恵を出し合い、力を合

わせ、新たな村づくりのスタートの年にしたいものと考えているところです。

村には課題が山積していますが、今年度は特に次のよ  
うなところに力を入れたいと思っています。

まず一つは、これまで農業などを中心に産業振興を図り、村民の生活の安定に努めてきましたが、今年「ま  
でい」の商標登録を生かしながら、さらに村民の皆様が  
頑張りがいのある環境づくりに努めたいと考えています。

二つには、何よりも村民の健康が第一です。皆様の協力・  
参画・行動力をもって「健康寿命」の延長に努力したい  
と思っています。

そして三つ目は、村がさらに活性化するために、人（教  
育）を大切にし、モノ・金を村内で出来るだけ循環する  
仕組みをつくり、さらに交流人口や定住人口を増やす手  
だてもしなければと考えています。ないものねだりから  
あるもの探しをすれば、私たちの村にもたくさん素材  
や資源、宝物があること間違いなしです。

全国的なことですが、国から地方へ回していただける  
お金（地方交付税）は年々減っており、地方自治体は厳  
しい運営を強いられています。そのような中で、飯舘村  
では行財政改革に努め、貯金を蓄えたりしながら着々と  
準備をしているところです。今後さらに身の丈に合った  
行政づくりを進め、村の舵取りを間違えなきよう努めて、  
村民の皆様「住んで良かった」、「飯舘村で良かった」  
と一人でも多くの方に感じてもらえるよう、言っていた  
だけのように、村長として最大の努力を傾けていくつもり  
ですので、今年もどうぞよろしくお願い致します。

今年1年、皆様のご家庭に昨年以上のさらなる幸せが  
訪れ、健やかで過ごされますよう、心よりお祈り致しま  
して、平成19年の新年に当たってのご挨拶とします。

# 新春のごあいさつ



飯舘村議会議長  
北原 昇

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いにて輝かしい新春をお迎えの  
ことと心よりお慶び申し上げます。

これは、皆様も同じであろうと思います。新年と  
いうのは気持ちが新しくなり、「今年こそは」と新しい構  
想や希望などがおのずと湧いてきます。今年も村民の皆  
様が最良の年となりますよう念ずるものであります。

さて、昨年は幸いにも飯舘村は初夏の長雨が続いたも  
の、台風の影響や大きな被害もなく好天に恵まれた年  
でありました。

また、昨年9月30日には多くの村民の参加をいただき、  
立村50周年を迎えられました。今後は、これらを契機と  
して村の半世紀の歩みを振り返るとともに、これからの  
村勢発展に一層の創意工夫を凝らして努力をしていかな  
ければならないと思います。

本村は自立の道を選択し、自立計画「新たな出発プラン」  
たひだち

をもとに、村民参加と協働の村づくりを進めることと致  
しました。住民と行政が役割を認識し、それぞれが担う  
べきことを推進しながら協力していこうというものです。

自然環境をはじめ厳しい面もありますが、村民の方々  
が「住んで良かった」と本音で言える、豊かで潤いのあ  
る村に、今年は一歩近づける年にしたいと考えておりま  
す。

また、自立計画が具体化するにつれ、今後は村民の負  
担及び我慢が避けては通れないと思います。これらを克  
服するには、村民の生産基盤の整備向上つまり商工業へ  
の支援や雇用の場の確保、農業については自主自立の村  
ならではの支援策の存続拡大が最も重要であると考えま  
す。

そして、高齢者が元気で暮らせる福祉施策及び少子化  
社会への対策、生涯学習の充実も図らなければなりません。

さらには、主要道路と生活道の整備促進を図るととも  
に、行財政改革の断行等、健全な村づくりに努めて参り  
たいと考えております。

村議会と致しましても、村民の皆様との連携を一層密  
にし、村勢発展のため更に努力をしてまいり所存です。

以上のことを基本として、自立の村づくりの中で村民  
の生活と幸せを守るため、活発な議会活動を通して進め  
てまいります。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念  
申し上げます、新年のごあいさつと致します。